

2016年「2月11日を考えるつどい」

入場無料

# 安保法制と日本…私たちの考えるべきこと

安倍政権は、多くの反対の声に耳を貸さず、前代未聞の暴挙を重ねた末、安保法制（戦争法）を採決強行しました。「時がたてば国民は忘れる」という政権与党の予想を裏切り、私たちの怒りはいまださめやらず、大きくなる一方です。

戦争法は、憲法9条の平和主義を破壊する違憲の法律だということは明らかです。圧倒的多数の憲法学者など、法律の専門家が憲法違反だと断言しました。

そうした中、著書や新聞・雑誌等で、安倍政権の安保政策を徹底批判しているのが柳澤協二さんです。柳澤さんは、生え抜きの元防衛官僚で、自民党4代の総

理大臣の下で、自衛隊海外派遣のための法整備と現場指揮を主導してきた人です。その柳澤さんの動機は、「かつて政府の中枢にいた人間の使命として、『おかし』と思ったことは国民に伝えなければならない」からだといいます。

1999年から続けてきました「2月11日を考える集い」ですが、今回は講師に柳澤協二さんをお招きしました。長年、日本の防衛の最前線で実務を担ってきた人だけに、柳澤さんの講演は、憲法学者とはまた異なる視点からのお話が聞けるものと期待しています。多くの方のご来場をお待ちしています。



- ◆日時：2月13日（土）午後2時～4時
- ◆会場：木更津市中央公民館・大ホール
- ◆講演「安保法制と日本  
…私たちが考えるべきこと」
- ◆講師 柳澤 協二さん（元内閣官房副長官補）

講師；柳澤協二さん

1946年（昭和21年）生まれ。2004年（平成16年）から2009年（平成21年）まで、第2次小泉・第3次小泉・福田・第1次安倍・麻生内閣の下で内閣官房副長官補（安全保障・危機管理担当）を務めた。著書に、『『亡国の集団的自衛権』（2015年集英社新書）、『新安保法制は日本をどこに導くか（さよなら安倍政権）』（2015年かもがわ出版）、『自衛隊の転機——政治と軍事の矛盾を問う』（2015NHK出版新書）などがある。

主催

千葉県高等学校教職員組合君津支部  
平和・人権・教育と文化を考える会

連絡先  
090-6149-4132  
栗原